

使用プリント

No
氏名

① あなたの身の回りて、「都会と地方、男性と女性」などの間で「ギャップ(ずれ)」が起きている例を挙げてみよう。

② ①で挙げたギャップに対して、あなたはどのように感じていますか。

③ 未来に向けて、地域の課題に対してどのような対策が考えられますか。

問① 生徒回答例

・地方では大学などの高等教育が限られているので、進学時に都市部へ移動せざるを得ない状況。
・男性は働く場所があるけど女性には働く場所がなく子育てが大変なところ。

地方には若者にとって魅力的な職場がない。

都会の発展と地方の衰退

男女の賃金の差や職場環境の差など。

移動手段の種類

都市と地方の経済格差

情報化社会

政治への意識

都会だと若者の意見や女性の意見を推しているが、地方ではそこまで若い人から入っていない。

仕事をがんばりたいのに結婚や出産を押し付けられる。

①料理は女性で作るものという固定観念など

②都会と地方の天候など

問② 生徒回答例

専門学校や大学などだと地方は限られてしまっけど都市だと選択しが増えるので都市は便利だけど地方は不便だなと感じます。

若者が行くようなお店が多いため、おんなが都会に行きたがるのか？
私は雪が好きなので、都会には行きたくないので思っていますけど、周りの人は考え違っていて、また人がいなくなるのか？と感じています。

地方から人出て行っている。

都会と地方の人の考え方や感じ方に違いがある。

ジェンダーギャップへの理解や関心が高い。

あんなに風習に惑わされて、何も今の現状をみえよと思う。金持ちは弱い、何かを捨てて、何かをみえよ。かたいてい、感じます。

全国産物を同じくしてほしい。

電車の時間をもっと増やしてほしい。

今は多様性もあるため、「女性がいらないといけない」「男性がいらないといけない」という考えはあまり良くないと思う。

問③ 生徒回答例

育児休業や有給休暇の取得促進の対策

・長時間労働の是正・短時間就労等の柔軟な働き方の対策

・都会には都会でしかない魅力があるけど、地方にも地方でしかない魅力があるからそういう点を広めれば地方にも人が来ると思う。もしもたら家賃も地方に人が増えるかもしれない。

十日町に一人を招くには、市民全員が協力し、お店を増やしたり、自然の中心を盛り、魅力に勇気づけもらうことが大切だと思う。十日町はやはり行事や料理と見外の人に知ってもらい、行事を定期的に開きたい。

まず、税金を多く取られてしまうと、お金がたりず、一人暮らしの方が負担が減ると思われています。ボリナスもそれなのに、そのお金から税金を払わなければならない、苦しい状況になります。結局は、人口が流出してしまうと私は思います。

女性だけでなく男性も子育てに多く参加してほしい。男性も大人数で子育てすることは同じことである。

①多様性の時代なのでみんなありへて当たり前、する事かできずは良いと思います。

②地方ならではの雪を使用しイベントなどを多く開く。